

令和5年第5回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年5月31日（水曜日） 午後1時41分から4時4分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則 学校給食センター所長・小林克己
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	2人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第21～23号

議題及び決定事項等

議案第21号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第22号 日高市人権教育推進協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第23号 日高市社会教育委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 学校給食センターの長寿命化の改修を実施したが、建て替えの計画はどうか

ったのか。

(教育部長) 令和元年度に策定した学校給食センター整備計画では、建て替えについてはPFIによって行うことが有効であるという結論を出したが、現在の市の財政状況や、今後の児童・生徒の減少の推移を鑑みて、現時点では建て替えを行わず、長寿命化を図る方針としている。

(委員) 計画の策定を進めている段階から、少子化で子どもが減少していき、建て替えをしても後に過大な施設となってしまうことは分かっていた。施設の余裕部分を活用して収益を生む事業を検討するなどの議論をしたはずだが、最後になって長寿命化へ方針転換をしたことは把握していない。教育委員会会議で報告をしたのか。

(教育部長) 整備計画で長寿命化をしていくことで結論付けていると認識している。

(教育総務課長) 令和元年度に整備計画を策定しているが、教育委員会会議で議決を受けて策定しているので、その際、こういった説明をしたかは当時の資料を確認しないとわからない。

(委員) 本年4月から調理業務などを委託したが、4月12日の給食を1,000食調理とはどういった事か。

(学校給食センター所長) 受託事業者が給食開始前の4月7日に12日に提供予定の献立1,000食分を試行で調理し、配送するまでの一連の流れを確認したものである。

(委員) 義務教育学校がスタートしたが、前期課程と後期課程で時間割を合わせる工夫をしなければならない。教員の移動や給食の配送など様々なことを考慮する必要がある。教えない教育を実施するには時間の余裕が必要である。今のカリキュラムのままでは主体性を育む教育はできないと思う。施設隣接型の学校でもカリキュラムが違うという理由で進んでいない。実際の現場と教育委員会の考え方の相違や自由度と機動力が足りていないと思う。

(委員) 今年度実施する高根小中学校の整備工事と高萩北中学校の長寿命化工事の内容は。

(教育部長) 高根小中学校整備工事については、令和6年度に義務教育学校高根小中学校を開校するのにあたり、中学生を小学校校舎に迎え入れるための工事を実施する。後期課程で必要な特別教室などの整備を行う予定である。高萩北中学校長寿命化工事については、特別教室棟及びプールの大規模な改修を実施するものである。

(委員) 給食費の500円減額とはどういうことか。

(教育部長) 国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰により値上げした500円分を軽減するものである。

(委員) 高萩公民館のスマホ・サポートコーナーという催しはどういったものか。

(生涯学習課長) 高齢者向けのスマホ教室である。

(委員) 学校の人事評価について、実施による効果は出ているのか。

(学校教育課長) 教育長の指示や考え方を校長、教頭の目標に盛り込み、それを教員の目標に連鎖させ浸透させている。

(委員) 教室に行って授業を視察すると教員や子どもたちは身構えてしまい、普段の様子が見えづらい。学校医として学校に行ってみていると、子どもの教員に対する姿勢が見えてくる。行儀がいいが裏がある雰囲気、行儀が悪いがブレがない雰囲気、教員の顔色をうかがっているような雰囲気などクラスによって様々である。

こうした現状の中で一律に教えない授業を進めるのは難しいと思う。枠を作ってそこから出ないようにする教育方法ではなおさらである。教えない教育を行うには時間に余裕を持つことが大切である。45 分間の授業内で行うのは難しいと思う。小中での教科ごとのつながり、カリキュラムの時間を考えて、再編していかないと小中一貫教育は進まないと思う。特に分離型と隣接型は進まない。教員は何をしたらよいのかわからないと思う。

(教育部参事) 武蔵台小中学校はできる限り前期、後期で時間をそろえるようにしている。後期課程の教員が前期課程のクラスの授業に行きやすくしている。

(委員) 教員の主体性がなければ、子どもに主体的な学びは教えられない。大人の主体性について各学校で議論してもらいたい。

(委員) 事故防止について、西部管内で自死が 2 件おきてしまった。全国的に増加傾向である。

(委員) 市職員も心身の不調者が増えていると感じる。週 1 回市役所に行くが、昼休みも仕事をしており、良い雰囲気とは言えない。周囲が不調に気づきづらくなると思う。

(委員) AI に負けない子どもを育てるという講演はどういった内容か。

(教育長) チャット GPT など AI が発展しているが、その中には間違った情報も多くある。子どもだとその情報の真偽の判断が難しい。だからこそ事実に近い教科書が大切であるが、実際に教科書の内容を読み取るのは難しいという内容であった。

(委員) 新型コロナウイルス感染症について、今流行しつつある株はワクチンが効きづらく感染力が高い。今まではほとんどの場合喉の痛みがあったが、喉の痛みや熱が無く、下痢症状で陽性という例もある。学校において下痢や嘔吐で感染が拡大する恐れもあるので、処理をするときに塩素消毒をするよう指導しておいてほしい。現在出席停止は 5 日間としているが、5 日だとまだ感染のリスクは残っている。ワクチンの接種率も低下している。

(委員) 新学期が始まって 2 か月が経過した。部活動の状況はいかがか。

(教育部参事) 生徒の健康管理と教員の働き方改革の観点から、飯能市と足並みをそろえて、朝練習は中止とした。大きな問題は起きていない。

(委員) 地域部活動化について、どこの市町村も苦慮しているようだが、進捗状況はいかがか。

(学校教育課副参事) 話し合いは進めているが、具体的な話にまでは進んでいない。県教育委員会を通じてプロの女子サッカーチームとも話をしているところである。実現できるかどうかはまだわからない段階である。

(委員) 学校関係者のいない中でのリスクマネジメントはどうなのか。

(学校教育課副参事) 県教育委員会では学校部活動の考え方を生涯学習の一環に位置付けていくように変えつつある。

(委員) 教員の働き方改革ありきで進んでいて、趣旨が見えてこない。生涯学習に位置付けるのであれば、一斉に実施するべきである。働き方改革を進めるのであれば、小中一貫教育を進めるなかで、小学校と中学校で重複や共有できる部分があると思うので、そういった所を再編する工夫が必要である。

(教育長) 子どもたちの活動の場が失われてはならない。今後、さらに生徒数が減少

していき、学校単位でチームを作るのが難しくなっていく。連合チームなども想定して地域部活動化を進めなければならない。

(委員) 武蔵台小中学校が開校し部活動への影響はいかがか。

(学校教育課長) 前期課程の6年生が5名部活動に参加している。スポーツ少年団も6年生で卒団ではなく、継続していけるようにしている。

(委員) 高麗地区のスポーツ少年団は団員不足が問題となり合同チームなどで対応しているが、他の地区はどういう状況か。

(教育部長) 他の地区でも同じように減少している。クラブチームに移行している傾向がある。

(委員) 合同チームだと近隣のメリットが失われたり、他の地区の保護者との調整が必要になったりと課題もある。

(教育長) 現在はクラブチームなどの選択肢も増えている。活動の場所の保障は大切である。

(委員) クラブチームはビジネスなのでいろいろと工夫して人集めをしている。

(教育長) クラブチームに所属するには費用が必要である。スポーツ少年団は保護者の協力が必要である。家庭の事情でクラブチームには通えない子どももいる。

(委員) 教育格差の是正のためには、スポーツ少年団は存続すべきである。

(委員) 日高市ではコミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を進めているが、6地区6小・中学校、公民館という特色を生かして学校、地域、家庭が一緒になって進めていると思うが、人事異動により公民館長が変わり今まで話していたことが進まなくなってしまうという問題がおきている。

(委員) 現在は市の主幹級の職員が館長をしているが、数年前は、部長級を退職した職員が公民館長を務めていた。校長と対等に議論をしていくには、そういった職員のほうがよいと思う。

(教育部長) 教育委員会として、人事と組織の担当へは意見している。本日の会議で出た意見についても申し述べておく。

(委員) 館長の役割は重要である。

(委員) 高麗川地区の学校運営協議会委員をしているが、会議は年5回と聞いているが全地区そうなのか。

(教育部長) 5回開催分の予算を計上している。

(委員) 年間5回の会議だと話が進まない。改善の議論も止まってしまう。

(教育長) 議論するテーマは積極的に学校へ意見してよいと思う。

(学校教育課長) 高萩北地区では、事前に校長や会長で話し合うテーマについて検討している。

(委員) 高麗川中学校の公衆電話が撤去されたがなぜか。

(学校教育課長) NTT が設置したもので、利用頻度が少ないため撤去となったと思われる。高萩中学校にも以前はあったが同じ理由で撤去となった。

(委員) 現在はトイレに上履きのままで入っているが、以前はスリッパに履き替えていた。

(委員) スリッパを共有するほうが不衛生な場合もある。現在は病院でもスリッパに履き替ええないのが主流である。

(教育長) トイレの床も湿式から乾式になり衛生的になっている。

(委員) 硬筆の名前のお手本をパソコンで作成する教員がいる。パソコンの字だと間違えて覚えてしまう場合があるので、字が苦手な教員もいるとおもうので委託や得意な教員に書いてもらってもよいと思う。

(委員) 高麗地区では学校応援団のボランティアが見ている。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 21～23 号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 6 月定例会：6 月 26 日（月曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承

○ 7 月定例会：7 月 27 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承